

きょう最後の詰め

水俣病補償処理委

あつ旋案の調整続く

水俣病患者の調停派に対するあつせん案作成作業を進めている水俣病補償処理委員会（千種達夫座長）は、二十日夜から東京・永田

町の町村会館で前日に引き続き四十四回目の会合を開き、あつせん案についての細かい調整を行なった。その結果、二十五日午前十時

から東京・霞が関の厚生省会議室に患者、チツソ双方の代表を招きあつせん案を提示することになった。

同委員会はさらに二十二日最後の会合を開いて二十五日に提示するあつせん案の具体的な手順を決める。